

- ・ 天水地域ではゴマ、豆類、ひまわりなどを栽培している。
- ・ 水質に関する問題は、これまでは発生していないが、水の塩分が上昇してきており Soil Division が調査している。

3月6日(日)	11:30-12:30	Kyaupadaung T/S	
面会者	氏名	役職	所属先
調査団全員	U Thein Myint	Jaggery Production (Home-made)	
	Daw Hla Sein	Jaggery Production (Home-made)	
要点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂糖ヤシの木を50本持っている。初期投資は3万チャット程度であった。 ・ 朝7-8時頃に樹液を集め、8-11時頃まで(3時間程度)煮詰める。5鍋分/日生産可能である。1日に20ビス、年間1,500ビス程度生産する。 ・ できたジャガリーはチャオパダンの町の市場に売りに行く。5日に1度の割合で市場に行く。売価は1ビス200チャットであり、5日間で2万チャットの売り上げである。 ・ 生産可能な時期は2-9月の6か月間のみ。雨期は生産できない。農業も営んでおり、ゴマ、落花生を栽培している。所有土地面積は10エーカー。 ・ ジャガリー生産の燃料にはキマメの茎を利用。年間を通じて豊富に手に入る。1日10束使う。キマメの茎は、牛車1台分(25束くらい)を2,000チャットで購入できる。薪を使うと費用がかさむ(2,000チャット程度かかる)。 ・ 煮炊きには薪を使う。キマメの茎は火が大きくなりやすいので、ジャガリー生産のようにかまどを使う場合は良いが、三石のかまどでは火災の危険性があるため。 ・ 飲み水は近所の浅井戸から牛車で運んでいる。病気予防のため沸かして飲む。 			

3月6日(日)	14:00-15:30	Zio Village	
面会者	氏名	役職	所属先
調査団全員	U Win Tun	Administrator	BAJ Nyaung Oo Office
	U Myint Aye	Team Leader	BAJ Nyaung Oo Office
	U Naing Win	As.Field Coordinator	BAJ Nyaung Oo Office
	U Htun Kyan	Leader	VPDC
	U Kan Hla	Leader	Village Water Committee
要点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ BAJの支援により深井戸が掘削され、1か月前から生活用水の供給が開始されていた。 ・ 掘削費用、ポンプ代など3万ドル程度はBAJが負担、村人は労務提供、お茶菓子や砂、砂利などの物品提供を行った。 ・ 水代金は、牛車1樽分で100チャット。こうして集めたお金は電気代や維持管理費、及び将来への積立金として利用する。これまでに積立金は1万チャットになっている。 			

- ・ 村落水委員会が組織されている。メンバーは 17 名でオペレーター2 名を含む。オペレーターは 400 チャット/日が支払われているが、それ以外のメンバーはボランティアで無給である。同委員会は仮設の状態であり、全員男性であった。ミャンマーの農村には、概ね 10 世帯につき 1 グループ(セエインガウンという)が設置されており、各グループにリーダーがいる。同村には 13 セエインガウンがあるので、13 名のリーダーがメンバーとなっている。その他 USDA2 名、PDC2 名の計 17 名である。
- ・ 近隣には寺社林があるが、ここには精霊が宿ると信じられており、村人は誰も木を折ったり切ったりしない。
- ・ 井戸が出来てよかったこととしては、水汲み作業が楽になった、水浴びができ疲れが取れる・体を清潔に保てる、子どもの下痢が少し減った、などが挙げられた。

3月6日(日)	16:00-17:30	Kon Than Gyi Village	
面会者	氏名	役職	所属先
調査団全員	U Than Myint	Chairman	Village Water Committee
	U Khin Maung Myint	Secretary	Village Water Committee

要点

- ・ BAJ の支援により4年前に深井戸(450ft)が掘削された。
- ・ 水代金は、牛車 1 樽分で 60 チャット(当初は 1 樽 30 チャットだったが、軽油の上昇により、水代を上げた。軽油 1 ガロン 2,700 チャット。軽油1ガロンで 5,000 ガロンの給水可能)。これまでに積立金は 24,000 チャットになっている。
- ・ 村落水委員会が組織されている。メンバーは 18 名でオペレーター1 名を含む。オペレーターには軽油1ガロン分の運転に対し、150 チャットが支払われているが、それ以外のメンバーはボランティアで無給である。同委員会は 12 セエインガウン、USDA3 名、PDC3 名の計 18 名で構成。
- ・ 大きな故障はコントロールパネルの故障。修理費として 38,000 チャットかかった。又、エンジンのガスケット交換(年 3 回)に 2,500 チャットかかる。ダイナモの故障が起こるのではないかと心配している。
- ・ オペレーターは、自宅にモーターを持っており、技能があったため選ばれた。また、BAJ のトレーニングを受けている。
- ・ 負担を超える故障が生じた場合は、BAJ の支援を期待。支援がない場合は、集会を開き、村民から集めることを村落水委員会の議事録で確認。村民もこのことは承知している。
- ・ 課題は、塩分濃度が高く、飲料用に適さないこと、及び今後の大きな故障。飲み水については、河川からの汲み上げ及び DDA の水道供給事業(5 日に 1 回で量も制限されている)により対応。

3月7日(月)	11:00-12:00	DAR Farm	
面会者	氏名	役職	所属先
調査団全員	U Sang Win	Farm Manager,As.Director	DAR
	Daw Tin Than	Senior Research Assistant	DAR
	Daw Myat Nwe Nwe	Senior Research Assistant	DAR
	Daw Mar Mar Cho	Senior Research Assistant	DAR
	U Thaw Zin Aung	Research Technician	DAR

要点

- ・ 同 Farm のスタッフは 12 名で、うち 8 名が研究者、事務員が 3 名、用務員が 1 名である。
- ・ 乾燥地作物の中央研究所として 1985 年に設立された。2004 年より MAS の付属機関から DAR の付属機関となり、1 年間の研究を終えたところである。DAR の下には、七つのリサーチセンターと 17 のサテライトファームがある。CDZ には、この他、マグウエー（油脂系作物）、キンモンタン（サトウキビ）の三つのリサーチセンターがある。
- ・ 当センターの対象作物はキマメ、緑豆、落花生、ゴマ、ソルガムである。目的は、①質の高い品種を見つけ出すこと、②地域の状況に適した栽培方法を開発すること、③デモンストレーション栽培を行うこと、の三つである。121.4 エーカーのうち 77.91 エーカーが栽培可能地である。研究用地は 21.4 エーカー、種子生産用地は 56.5 エーカーである。
- ・ キマメは 5 月の雨の際に栽培を始める。生育期間が長く(210 日間)乾燥に強い。最近では生育期間 180 日程度の品種を開発している。
- ・ キマメとセサミ又は落花生との混作に関する試験研究及び普及も行っている。
- ・ ICRISAT や IITA など国際的な研究機関とも共同研究を行っており、改良品種の提供を受けたりもしている(ソルガム、落花生、キマメなど)。
- ・ 農家のニーズに基づいた研究はやっていない。

3月7日(月)	11:00-12:00	Nyaung Oo Native Chicken Breeding Farm	
面会者	氏名	役職	所属先
調査団全員	U Aung Khin	Dy.Director	LBVD(Yangon)
	U Lwin Naing Oo	Farm Manager	LBVD
	Daw Si Lyan Myint	Veterinary Officer	LBVD

要点

- ・ LBVD が設置した国内最初のモデルファーム。鶏のモデルファームはここだけ、この他に役畜二頭と、山羊一頭のモデルファームあり(一つはマグウエーにある)
- ・ 地鶏 8 種類のうち肉用 3 種を飼育している(シッタゴン、Naked Neck、インビンワ)。良い品種は、生後 2 か月くらいで村に無料配布し、家畜銀行活動を実施している。
- ・ これまでに村に配布した鶏の数は 1,500 羽以上に上る。

